



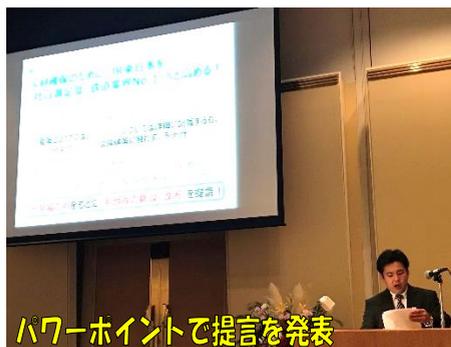
## 本部主催 「2018政策フォーラム」

# 工務部会&津田沼支部が 「手当等の改善」を提言!

11月11~12日、湯本富士屋ホテルにおいて横浜地本準備のもと「2018政策フォーラム」が開催され、千葉地本は工務部会と津田沼支部の合同で「社員満足度No.1の鉄道会社を目指して~手当等の新設・改善による労働条件向上~」の提言を発表しました。

千葉の提言は、JR東日本の労働条件を鉄道他社よりも魅力的にすることで安定的な人材確保につなげるという内容で、工務職場の夜間作業や業務用自動車運転による負担感、車両センターの「技能士」の資格取得に対する達成感の不足、乗務員の休日出勤の多さ、住宅に関する福利厚生不足等の問題に対して「手当等の新設・改善」を提言しました。その後の全体討論では共感や補足の発言がなされ、提言をより深めることができました。

今後、発表内容をもとに会社と団体交渉を行い、提言の実現を目指します。



パワーポイントで提言を発表



全体討論



業務用自動車の問題を発言



駅職場の多忙な実情を発言

### ◆発表概要

少子化と人口減少によって「働き手の確保」が難しくなる中、JR東日本は夜間作業や3K作業、休日出勤といったものが多く、採用面で不利な状況にある。インフラを守る社会的責任を果たすには、皆が入社したくなる労働条件へとブラッシュアップし、安定的な採用を確保する必要がある。

顧客満足度だけでなく「社員満足度No. 1」の会社にするを通じた、「変革2027」で謳う「社員・家族の幸福」を実現するため、夜間作業や超勤、技術力向上などに関する手当の新設・改善をメンテナンス職場や乗務員職場の視点で提言する。

### ◆提言の全体像

#### 職場の声をもとに、7つを提言

- ① 深夜早朝手当の改善 【全系統】
- ② B・C・D単価の改善 【駅・工務・乗務員】
- ③ 休日数の改善 【日勤職】
- ④ 自動車運転手当の新設 【工務】
- ⑤ 緊急呼出手当の改善 【工務】
- ⑥ 技能士手当の新設 【車両】
- ⑦ 所有住宅援助金改善 【家族】



現場の声から練り上げた「提言」に基づき労働条件向上を実現するため、皆でJR東労組に結集して組織を強化・拡大し「政策実現力」を高めよう!